2026 年 11 月 13 日

各　位

会 社 名　ＣＲＧホールディングス株式会社
代表者名　代表取締役社長　小田　康浩
（コード番号：7041　東証グロース）
問合せ先　執行役員管理本部長　竹内　啓
（TEL.03-6302-0834）

通期連結業績予想と実績値との差異及び特別損失等の計上に関するお知らせ

2025 年 11 月 14 日に公表いたしました 2026 年９月期連結業績予想と、本日公表の実績値との間に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．2026 年９月期連結業績予想と実績値の差異

（１）2026 年９月期（2025 年 10 月１日～2026 年９月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回予想（A）	百万円 18,000	百万円 300	百万円 250	百万円 100	円　銭 18.03
実績値（B）	16,514	190	121	△161	△28.93
増減額（B－A）	△1,485	△109	△128	△261	△46.96
増減率（%）	△8.3	△36.6	△51.3	-	-
（ご参考）前期実績（2025 年９月期）	16,420	279	210	153	27.73

（２）2026 年９月期連結業績予想との差異の理由

2025 年 11 月 14 日に公表した連結業績予想につきまして、製造関連事業において製造請負・製造事業が安定的に稼働したことに加え、HR 関連事業において、物流・製造向け人材派遣や障がい者雇用支援サービスが堅調に推移し、前期を上回る水準を確保いたしました。一方、コールセンター向け人材派遣にて、大手顧客を中心とした派遣需要の縮小が継続しており、派遣単価の改善や提供サービスの拡充に努めたものの、剥落した案件分を補う水準には至らなかったことを主因とし、売上高が当初予想から約 1,485 百万円減少することとなりました。

利益面につきましては、製造関連事業・障がい者雇用支援の増益や各種経費の削減に努めましたが、

上記売上高の減少に伴い営業利益・経常利益が業績予想を下回る着地となりました。加えて、一部の投資有価証券の評価損を特別損失として計上したことにより、純利益は業績予想を下回る結果となりました。

２．特別損失等の計上について

（１）連結決算における投資有価証券の減損損失の計上

当社の連結子会社であるＣＲＧインベストメント株式会社が保有する投資有価証券について、2026年９月25日付「子会社における特別利益（受取補償金）及び特別損失（投資有価証券評価損）の計上に関するお知らせ」にて公表した投資有価証券評価損 96 百万円に加え、取得価額に比べて実質価額が著しく低下した株式について、減損処理による投資有価証券評価損 95 百万円を特別損失として、連結財務諸表に計上いたしました。この結果、当連結会計年度において投資有価証券評価損 192 百万円を特別損失として連結財務諸表に計上しております。

（２）貸倒引当金繰入額の計上について

上記に伴い、ＣＲＧインベストメント株式会社への貸付金に対する貸倒引当金繰入額 95 百万円を営業外費用として計上いたしました。なお、当該貸倒引当金繰入額は当社の個別財務諸表にのみ計上されるものであり、連結決算において消去されるため、連結損益への影響はありません。

３．業績に与える影響

当該事象の発生につきましては、本日公表しております「2026 年９月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。

以　上